

Case : 142

街路樹のくぼみにキャストがはまりこみ、転落しそうになる

場面の説明

前方が良く見えなかったため、キャストが植林のくぼみに落ちてしまった



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 段差・縁石
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

屋内とは異なり、歩道などの屋外では様々な環境が車いすでの移動の障害となります。この事例では、街路樹の根元にあるくぼみにキャストがはまり込み、車いすが傾き、急に止まった勢いで利用者が前方に倒れかかっています。介助者からは、利用者の足元付近は死角となり見にくいものですが、少し先の路面状況を把握して余裕をもって障害物を避けるような介助を心がけましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：よそ見をしていて前方をよく見ていなかった
- 人：死角になっている箇所に注意がなかった
- 環境：歩道がわずかに傾斜しており、ハンドルをとられてしまった
- 環境：歩道の有効幅員が狭かった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 142

街路樹のくぼみにキャストがはまりこみ、転落しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

前方が良く見えなかったため、キャストが植林のくぼみに落ちてしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ